
うっかり若べえ

りす君

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

うつかり若べえ

【Nコード】

N2923B

【作者名】

りす君

【あらすじ】

はれて社会人になったのに、どこかうっかりしている若者の、朝の出勤の様子を描く。一部、軽度の下ネタ的な言葉が入っていますので、下ネタは嫌い！という方は無理せずに、他の私の作品の方を御覧になってください。

（前書き）

どうも、日本語がなっていない若者の例に挙げられている、りす君です。今回はこんな社会人がいたら…という作品です。では、どうぞ

おはようございます。

今日も職場に向かいます。時刻は今、午前8時半。ヤバい、完全に遅刻です。

急いで、パジャマを脱ぎます。ワイシャツをハンガーから取り、着ます。その時ネクタイ、忘れずに。

ズボンを履いて、ベルト締め、穴開き靴下気にせずに履き、上着をはおり、鞆持ち、パン口に加えて、いざ会社へゴー。

急いで駅に向かいます。ゴミ出しオバサン、そこどいて。道行く先の信号、赤が続きます。正直、いらつきます。駅に到着、改札抜けようとして詰まります。

「あれ？何で詰まる…あ！」

急いで家に戻ります。定期を持って、いざ駅へ。ゴミ出しオバサン、まだやってんの？

駅に到着。改札抜け、電車待ち、いざ乗車。

ギュギュウ詰めの中、痴漢に間違われないように両手をあげます。

「キャアー、この人痴漢！」

発生しました、痴漢騒ぎ。到着時刻が遅れます。てか今、ホント困ります。時間無いんで。

ようやく駅に到着し、漏れそうなのでトイレへ直行。急いで用をたそうとした時、やっと気付きます。

「あ、社会の窓が全開…」

私が一番痴漢です。てか、気付いてくれよ…

恥ずかしながらトイレを出て、改札抜け、バスに飛び乗ります。乗客に嫌な顔されていますが気にせずに。

「お客さん、前払い。」

あ、一番嫌な顔をされてたのは運転手でしたか。どうも失礼しました。

会釈と同時に発車、バランス崩し、乗客に倒れかけます。ああ、どうもすいません。

会社に到着、部長に平謝り。何故か部長は笑ってる。

「君、社会の窓が開いてるよ。」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2923b/>

うっかり若べえ

2011年1月29日15時14分発行